

復えのき

令和8年3月19日発行 校長 久保田 勲

「Continue」(コンティニュー) ～卒業生に贈る言葉 一式辞～



私は、心の中で大切にしている一曲があります。つらいとき、くじけそうになったとき、何度も私を励ましてくれた曲です。それは、SEAMOの「Continue」です。

この曲の中に、こんな言葉があります。

「負けたら終わりじゃなくてやめたら終わりなんだよね どんな夢でもかなえる魔法それは続けること」

私もこれまで、「もう無理だ」と思ったことや、「やめてしまおうかな」と心が弱くなったことが何度もありました。それでもそのたびに、「やめたら終わりなんだ」という言葉を思い出し、もう一度だけががんばってみようと歩き続けてきました。

続けることは、決して簡単ではありません。けれど、続けた人にだけ見える景色があります。続けた先に、自分の道が見えてきます。

そして、その歩みを支えてくれるのは、仲間であり、家族であり、あなたのことを大切に思っている人たちです。

6年生のみなさん。うまくいかない日があっても、失敗する日があっても、どうか自分を信じて、一歩ずつ進んでください。

苦しみの先には、きっと光があります。やがて、自分だけの道が見えてきます。そしてその道を見つけたときには、今度はあなたが、だれかを励ます人になってください。

みなさんはいよいよ旅立ちの日を迎えました。

敷島小学校で学んだこと、友達と笑い合った日々、最後までやりぬいた経験は、これからのあなたを支える大きな力になります。

困ったときには、ここで過ごした時間を思い出してください。あなたには仲間がいます。あなたを応援している人がいます。そのことを胸に、これからも勇気をもって歩み続けてください。

ずっと、ずっと、あなたらしく「Continue」です。

ご来賓の皆様、そして卒業生の保護者の皆様。

本日卒業を迎えた子どもたちがここまで成長することができましたのは、皆様の温かな見守りとお支えがあったからにほかなりません。心より感謝申し上げます。

どうかこれからも、子どもたちがそれぞれの道を歩み続けられますよう、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

卒業生一人一人の未来に、静かに、そして確かな光が続いていくことを願い、式辞といたします。

令和8年3月19日

甲斐市立敷島小学校長 久保田 勲



学校 HP